

Our History

～銭高組の歩み～

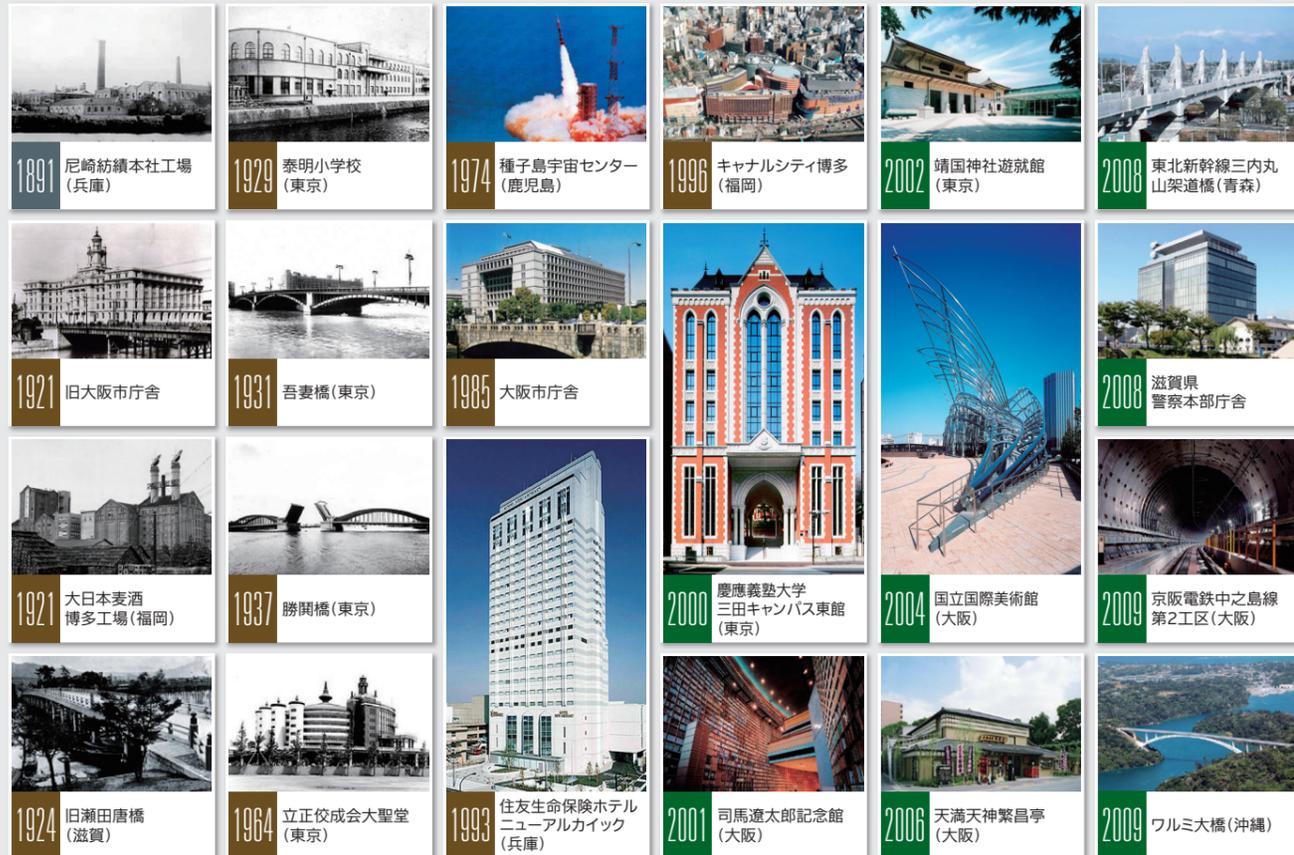
創業320周年

2025

Future

1705年の創業以来、銭高組は320年近い歴史の中で時代の変化を柔軟に捉え、信頼を高めてきました。
これからの未来も、経験に裏打ちされた技術力に新しい力を加え、お客様から評価される価値を創造していきます。

- 1705(寛永2年)9月18日【創業】
業祖 銭高林右衛門が棟梁として建立した本願寺尾崎別院が落慶
- 1887(明治20年)2月1日【創立】
社祖 銭高善造、大阪府東区横堀町(現 大阪市中央区久太郎町)に屋号番匠屋を改め銭高組を創立
- 1931(昭和6年)4月10日【設立】
株式会社銭高組を設立
- 1961(昭和36年)
大阪証券取引所第二部に株式を上場
- 1966(昭和41年)
大阪証券取引所第一部に株式を上場
- 1980(昭和55年)
会長に銭高輝之、社長に銭高一善就任
- 1984(昭和59年)
フィリピンに現地法人設立
- 1987(昭和62年)
創立100周年記念式典挙行
- 1997(平成9年)
ISO9001国内全事業所認証取得
- 2001(平成13年)
ISO14001国内全事業所認証取得
- 2002(平成14年)
ベトナムに営業拠点設立
- 2005(平成17年)
創業300周年
- 2013(平成25年)
日本取引所グループの設立に伴い東京証券取引所第一部に株式移行
- 2016(平成28年)
社長に銭高久善就任
- 2017(平成29年)
会長の銭高一善が旭日重光章を受章
- 2021(令和3年)
ZEBプランナー認証を取得
- 2022(令和4年)
東京証券取引所の市場区分見直しに伴い東京証券取引所スタンダード市場に株式移行



1705 [寛永2年] 9月18日 創業
番匠屋 銭高家は、江戸時代から泉州尾崎村(現 大阪府阪南市尾崎町)にて宮大工の棟梁を代々務めてきました。1705年には銭高林右衛門が関与した本願寺尾崎別院の建立が行われ、これが銭高組の創業の瞬間となりました。



1887 [明治20年] 2月1日 銭高組創立
社祖 銭高善造は1884(明治17年)年に上京し、西洋建築の新技术や近代経営の習得に努め、多くの得意先から知遇を得ました。そして1887(明治20年)年には大阪市内に移り、屋号を番匠屋から銭高組に改め、新たな一歩を踏み出しました。



1964 [昭和39年] 東洋の魔女の舞台
駒沢オリンピック公園総合運動場屋内競技場は、1964(昭和39年)年の東京オリンピックのパレーボール競技で金メダルを獲得した“東洋の魔女”の晴舞台となり、2017(平成29年)年には新しい姿のスポーツ施設として生まれ変わりました。



2018 [平成30年] ウガンダ・ナイル川源流橋
アフリカ最大級のコンクリート斜張橋が世界最長の大河・ナイル川の最上流部に架かりました。アフリカ北部回廊のボトルネックを解消し、東アフリカ地域の経済発展・物流の加速に貢献しています。



2022 [令和4年] 大阪中之島美術館
水都・大阪のシンボル、中之島に特徴的な外観の新しい美術館が誕生しました。1990(平成2年)年に準備室が設置されてから30年以上の歳月を経ての開館となり、中之島の新たな文化芸術拠点としての役割が期待されています。

Zenitaka
Corporate Social Responsibility Report 2024

CONTENTS

- 1 銭高組の歩み
- 3 トップメッセージ
- 7 中期経営計画とSDGs
- 9 PROJECT REPORT
 - 9 REPORT 01
大気社 新技術開発センター
TAIKISHA INNOVATION SITE Aikawa
様々な最新技術により建物の環境負荷低減を実現
 - 11 REPORT 02
国道158号 大白川大橋
深い谷間を跨ぐ狭隘な地で、交通難所の解消に貢献
 - 13 REPORT 03
ロジスクエア京田辺A新築工事
様々な手法を用いて
関西エリア最大級のプロジェクトに挑む
 - 15 REPORT 04
新名神高槻高架橋東(下部工)工事
交通の大動脈を支える高さ40m超の高橋脚を施工
 - 17 REPORT 05
那覇第2地方合同庁舎3号館
沖縄の気候に対応した新たな防災拠点を
省力化施工で建設
 - 18 REPORT 06
松江法務総合庁舎
歴史的景観への配慮と先進DX技術の活用
 - 19 TOPICS
未来と今のインフラを支える銭高組の取り組み

20 環境への配慮

23 持続可能な社会の実現に向けて

- 23 【公正な事業慣行】コンプライアンス
- 25 【組織統治】社会から認められ社会から求められる企業であり続けるために
- 27 【労働慣行】安全で安心な職場づくりを目指して
- 29 【消費者課題】お客様の期待に応える品質の提供
- 31 【コミュニティへの参画】地域社会の一員として
- 33 【人事・労働慣行】人材育成とキャリア開発、多様な人材の活用
- 35 【人権・労働慣行】対談:健康経営の「本質」と「未来」
- 37 【人権・労働慣行】多様な人材の活用、働きやすい職場づくり
- 38 「銭形平次」誕生秘話・会社概要・主な社外表彰

CSR報告書2024の編集方針と基本要件

- 編集方針
本報告書は、銭高組の事業活動について報告することにより、事業内容および社会的責任への取り組みについてご理解いただくことを目的としています。
- 対象範囲
銭高組 本社・本店および支社・支店
- 対象期間
2023年度(2023年4月~2024年3月)
※一部2022年度および2024年度の活動も含んでいます。
- 参考にしたガイドライン
環境省 環境報告ガイドライン(2018年版)
ISO26000 社会的責任に関する手引き(2010年版)